

- ☑ 2014/5/27(火)
- ☑ 6:00~20:00
- ☑ せんげん台駅東口
- ☑ 「チーム白川」マラソン演説会
実行委員会 主催

第10回 白川ひでづく

14時間マラソン演説会



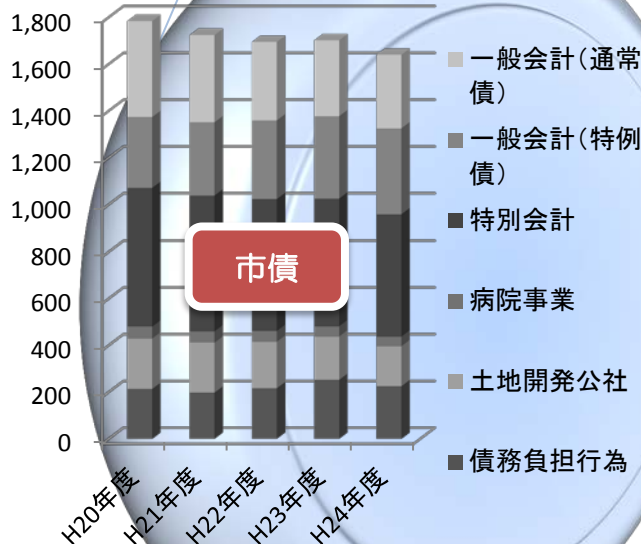
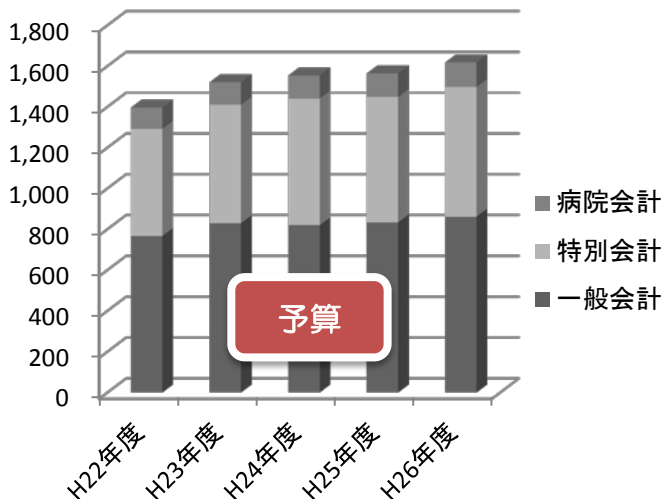
おはようございます！

□ 今回のテーマ

「越谷がどうなっており、どうないうるか」を発信し
将来に投資する社会をもう一步前に！

越谷市の平成 26 年度予算総額は 1,618 億円と4年連続で過去最高額を更新しました。一方で市の借金は 1,619 億円と予算に匹敵する金額となっています。今年度は一般会計で 71 億円の借金を計上することになり、借金の返済として公債費を 79 億円計上したため、差額の 8 億円が借金返済に回るようになりますが、借金の額に比べて少額であるため、私たちの代はおろか子供や孫の代を経ても返済できないものになっています。3月議会では市長提案の予算案に対して、市議会では賛成 21 名、反対 9 名で一点の修正もなく可決されましたが、納税者であり市の株主でもある私たち市民は、賛成理由・反対理由をしっかりと聞いておくべきではないでしょうか。そして、市議会で市長からの提案に対して、修正案を提案できるような議会を作るために、市民としてどのように考え、行動すればいいのか、将来を担う世代にツケを回さないために一緒に取り組もうではありませんか。

お気をつけて行ってらっしゃい！



チーム白川

チームリーダー 伊藤 幹夫

事務所：越谷市大里 226-1

TEL/FAX : 048-970-8005



《第10回14時間マラソン演説会》へのメッセージを頂きました。

越谷市は平成27年4月の「中核市」移行を目指して取り組みが始められています。高度救急隊が設置されること、保健所の設置・運営がなされ、民生行政事務が県から委譲されることにより、保健・医療業務が充実することが謳われています。安全・安心のまち越谷をさらに発展させるよう、市民として取り組みたいと思います。高齢者が健康で生き生きとした生活が維持できるように、自治会・老人会を通して健康づくりと地域共同体のコミュニケーションづくりを地道に推進していく所存です。

☆「チーム白川」チームリーダー 伊藤幹夫



第10回マラソン演説会開催おめでとうございます。市議会の最大の役割は市民の代表として市政をチェックすることであり、議員からの市長、執行部への質問や質疑を通じて、具体化されるはず。この3年間に市民の意見を聞くことなく建設が進む第三庁舎や77歳高齢者祝金の突然の廃止、来年度移行する中核市の課題、審議会で検討が進む本庁舎建設等、越谷市政のあり方として是非知っていただきたい問題です。人口減少時代の中でも、元気な未来の越谷市を作り出していくため、市民の皆さんが各議員を見極めていただき、一層のご支援をいただけますようよろしくお願いします。

☆越谷市議会議員 大野保司

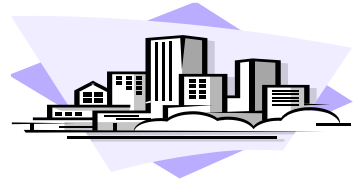


地元の自治会館は全額市の補助金で建設されたわけではない。寄付金を募ったり、町内会費の増額をお願いしたり、ふれあい広場でのバザー（バザーは20数年続いている）を開催して貯めたお金で建設したので、自分達が造ったと言う誇りと自負がある。その点から言うと、今言われている第三庁舎建設等は「安易に借金をする」というふうになっているのではないかと思います。

☆北越谷在住グラウンドゴルフリーダー 飯塚利男

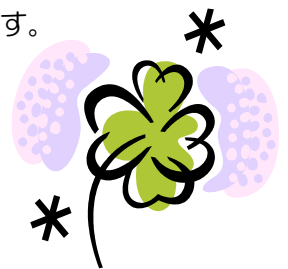
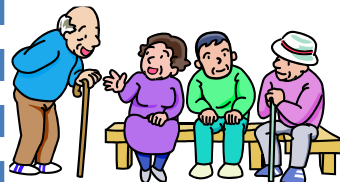
越谷市民として、最近???なことが私にはあります。中核市への移行ってどういう意味???なのでしょう。どうにも理解するのが難しいです。特定の人たちの功名心は満たされる気がしますが、市民ひとりひとりにはどんなありがたみがあるのか全然想像できないのです。私のような市民が越谷にありがたみを覚えるには、大前提として、施策がわかりやすくないと困ります。特定の人にしか理解できないのでは、市政を苦手と感じてしまいます。キーワードは「わかりやすさ」ではないでしょうか？

☆下間久里在住 穂波一宏



「14時間マラソン演説会」には過去に2回、参加させて頂きました。私は今年の3月、越谷市議会へ提出した請願運動を通して『表現の自由』や『言論の自由』を自分なりに考える機会がありました。表現＝存在＝命、私の「表現」に対しての今の考えであり、「言論」に対しては、生きている事は正しいのなら、生きていく命が伝えようとしている意見は正しいと捕らえお互いの意見を尊重して行く事の大切さを感じました。又、お互いに「自由」も保障し、守らなくてはならない事と思います。自分がマイクを握り、駅前の大衆の前で自分の意見を述べる。これは自分の存在を主張し、今、この時間、自分がここに生きていく事を感じる瞬間のひとつとも思います。ここに生きていくからこそ自分の生きる環境に対して考え、意見を述べる事は自分が生きる事への自分なりの責任をひとつ果たしているのかとも思います。そんな機会を与えて下さる「14時間マラソン演説会」、皆様の活動を心より応援いたします。

☆平方在住 小口高寛



高齢社会の到来により、国も医療・介護・年金など大きな負担を強いられており、年々借金が増える中で並行した行政改革が求められています。越谷市も平成16年度予算では、過去最大のものとなり、民生費は歳出予算の中で約42%も占め、国同様の改革が求められています。このような現状の中で我々市民は、市政に「関心」を持ち、どんな形であれ「参加」していく事が重要ではないでしょうか。こうした背景からこの「マラソン演説会」に参加することにいたしました

☆大泊シニア 塩原敏男